

2. ホイールの組み立て

2.1. アクシウム：フロントリムまたはスポークの交換

必要なツール

- 1. 従来のニップルレンチ
- 1. エアロダイナミックスポーク M40567 用レンチ
- 1. テンションメータおよび対応するテンション表示換算表

使用するスポークのリファレンス No. と長さは製品説明のページ(p. 5)に記載されています。



準備として各スポークにニップルをロックするまでねじ込んでおきます。そしてスポークの L 字型の方をハブ側にして、外側から各リム穴に差し込みます。



各スポークの L 字型の部分をハブフランジの切り込みに通します。



スポークヘッドが正確な位置になるように注意してスポークを締め付け、ホイールのテンションを正しく調整します。



ホイール

2.2. キシリウム ES 用ホイール：リアリムの交換

必要なツール

- 1. ニップルレンチ M40652
- 1. エアロダイナミックスポーク用ニップルレンチ M40567
- 1. テンションメータおよび対応するテンション表示換算表

フリーホイール側でない方では、トラクションスポークはハブの切り込みの最も内側の刻み目に差し込まれています。

赤いスポークは、フリーホイール側にあるバルブ穴の右の 3 番目の穴に差し込まれています。

フリーホイール側から始めます。



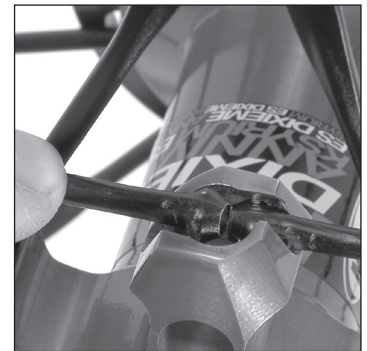
275 mm スポーク(324 179 01)をフリーホイール側のハブ穴に、フランジの内側から差し込みます。目印の付けられた穴を選んでください。



このスポークをバルブ穴の右の最初の穴(目印の点のある)に入れ、ニップルを 2 回転締めます。フリーホイール側のすべてのスポークについて、これら 2 つの作業を 2 個めのリム穴ごとに繰り返します。



298.5 mm スポーク(324 180 01)を残りのリム穴に入れ、ニップルを 2 回転させて締め付けます。リム穴の並びに沿って、スポークは自然と正しい方向に張られるはずです。



まずスポークヘッドをハブの切り込みに入れます。

各ニップルを均等に締め付け(各スポークについてホイール 1 回転ごとにニップルレンチを 1 / 2 回転)、ホイールのテンションを調整します。

最終的にテンションを調整し、ホイールのセンターリングを行います(フリーホイール側のスポークのテンションは 130 ~ 160 kg)。